

第8回浦和区区民会議 議事録(確定版)

1 日時：平成18年3月18日(土) 14:00~16:45

2 会場：さいたま市民会館うらわ 503 会議室

3 出席者(敬称略)

団体推薦：新井幸芳(青少年育成さいたま市民会議) 大関豊壽(浦和歯科医師会)

小川晃(埼玉中央青年会議所) 小原茂(浦和区自治会) 柿塚一二三(浦和区
民生・児童委員協議会) 坂場きみ(地区社会福祉協議会) 坂本和哉(浦和区
自治会連合会) 大工原潤(元市民懇話会) 大郷恒吉(北浦和 GINZA レッズ
商店街) 中島昌男(さいたま市薬剤師会) 藤倉幸親(さいたま商工会議所)
吉野勝則(さいたま市 PTA 協議会浦和区連合会)

公募委員：樫田範子、岡野昭夫、鈴木隆吉、山本信子

コミュニティ会議委員：秋山忠一(北浦和総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブをつくる会) 岡田唯文(コミュニティキャンパス浦和) 丸山繁子(さいたま市リサイクル女性会議・浦和) 渡辺修(中山道浦和宿二七の市実行委員会) 吉岡基代(浦和区四星会)

浦和区長：宮澤健二

事務局：小泉俊一(総括参事) 新藤茂(区民生活部長) 磯部弘(健康福祉部長) 日野徹(区民生活部コミュニティ課調整主幹) 佐藤好英(主幹) 金子秀行(副主幹) 小宮慶太(主任)

運営補助：福田律子(システム科学コンサルタンツ株)

4 次第

1 開会

2 議事

(1)各部会からの報告について

広報部会の報告・・・平成17年度活動報告書の作成について、浦和区コミュニティの広場啓発事業について

運営部会の報告・・・コミュニティ会議のあり方及び支援策について

企画部会の報告・・・さいたま市に対する提案・要望について

(2)その他

3 あいさつ

(1)浦和区区民会議会長 坂本和哉

(2)浦和区長 宮澤健二

4 閉会

5 内容

議事概要

(1) 各部会の報告について

広報部会の報告・・・平成 17 年度活動報告書の作成について、浦和区コミュニティの広場啓発事業について

柿塚部会長より、以下のとおり報告があった。

(平成 17 年度活動報告書の作成について)

- ・去る 3 月 8 日の広報部会において、活動報告書の構成や内容について検討し、皆さんに事前配布した活動報告書(案)にまとめた。本日は、簡単に目次立てを紹介するので、持ち帰ってさらに熟読していただきたい。
- ・活動報告書は、まず、「浦和区区民会議の概要」として、第 1 章で区民会議の目的や今年度の活動テーマを、第 2 章で活動経過を紹介している。
- ・次に「活動の概要」として各部会や全体会で検討してきた内容をまとめた。第 1 章「区から提案された諸課題についての検討」では、全体会で検討した「まちづくり推進事業費に対する意見」、運営部会で検討した「浦和区コミュニティ会議とその支援策のあり方について」および「コミュニティ会議の別称の検討」、企画部会で検討した「浦和区魅力あるまちづくり推進プランの実現化方策について」の 4 点の検討経過をまとめている。
- ・第 2 章「市から提案された諸課題についての検討」では、「都市計画マスタープラン」や「都市景観形成基本計画」に意見を述べたことをまとめている。
- ・第 3 章「広報活動の実施」では、広報部会が中心となって進めた広報活動についてまとめている。まず、「コミュニティの広場」を記載し、2 番目に「広報用冊子等の作成」として区民会議だより創刊号の発行やコミュニティ会議のリーフレットの作成などについて記載し、3 番目に「区民便利帳(わくわく浦和区暮らしの便利帳)の作成」を記載している。
- ・第 4 章では、昨年 11 月の千葉県市川市の視察を載せた。以上が「活動の概要」である。
- ・続いて「市政に対する要望」では、第 1 章に「平成 16 年度浦和区区民会議からの要望と市の回答」を掲げている。第 2 章には「平成 17 年度の要望」を掲げることになるが、この部分については、のちほど、企画部会から詳細な報告があるので、皆さんの了解が得られたものについて、掲げていくことになる。
- ・活動報告書の最後には、「1 年の活動を振り返って」という頁を設けている。第 1 期でも同様であったが、今年度も 1 年間活動した感想を皆さんに書いていただき、報告書の末尾を飾りたいと思う。提出していない方が 9 名おられるので、早めに事務局にご提出いただきたい。以上が活動報告書の概要であるが、何かお気づきの点があればこの場でご発言いただきたい。また、お帰りなってからお気づきの点があれば、早めに事務局にご連絡をお願いする。
- ・月末に開催される二七の市での「コミュニティの広場」を報告書に盛り込む必要があり、現段階では報告書の写真なども入っていないので、広報部会を 4 月 6 日に開催し、最終

的なとりまとめを行うこととしている。

(コミュニティの広場の開催についての報告)

- ・2月12日に「コミュニティの広場交流発表会」を開催した。当日はコミュニティ会議30団体のうちの21団体と区民会議委員、コミュニティ会議の設立を検討している2団体、そして事務局のあわせて75人が参加し、盛況であった。日ごろはあまり接点のない団体が一堂に集まり、いろいろ触発される機会となって、大変よかったとの感想を頂いている。皆様にはご協力をいただき、ありがとうございます。
- ・コミュニティ会議の別称が「魅力あるまちづくりグループ」に決定したため、この名称を広く区民にお知らせし、また、団体が事業を行うさいに、コミュニティ会議活動団体であることを明示するため利用してもらうよう、「のぼり旗」を作成した。デザインは大工原委員にお願いし、コミュニティの広場で各団体に配布した。
- ・以上、コミュニティの広場交流発表会については、活動報告書(案)21~23頁にまとめている。23頁には「成果と反省点」という欄を設けているが、このほかにも書いておくべきことがあれば、ご意見を頂きたい。
- ・なお、3月25、26日とコミュニティの広場広報啓発事業が開催されることになっている。市場通りにテント4張りをお借りして、区民会議・コミュニティ会議のブースを設置し、昨年作成したジャンパーを着用し、区民会議ののぼり旗と、今年作成したコミュニティ会議ののぼり旗を掲げ、PR活動を展開する。ブースでは、パネル展示をはじめ、今年作成したわくわく浦和区暮らしの便利帳や区民会議だより「わくわく浦和区創刊号」、PR用リーフレット、コミュニティ会議作成の冊子などの閲覧や配布を行うほか、コミュニティ会議による実演や、昨年好評であった「くじ引き大会」を実施する。くじの商品もコミュニティ会議のご協力などにより1600点ほど集まっており、当日は宣伝に努めたいと思う。くじの景品は現在も募集中なので、よろしくお願ひします。

(展示パネルについての補足報告・・・大工原委員)

- ・展示パネルは、一応、作成を終えている。昨年から変更したところ、変更していないところいろいろあるが、各コミュニティ会議にもコピーを配布しており、気づいた点があれば今月20日ぐらいまでに、修正意見を事務局まで申し出ていただきたい。

(意見交換)

会 長：以上の報告について、なにかご意見等あればお願いしたい。

委 員：報告書(案)の成果と反省点にも書かれているが、やはり、コミュニティ会議同士の交流の時間があるとよいと感じた。交流発表会とはいいながら、現在のやり方では交流がほとんど持てない。立食パーティのような大掛かりなものを考える必要はなく、簡単な茶菓と30分程度の時間でいいので、自由に交流できる機会を設けるようにすれば、ネットワークづくりにもなり、コミュニティ会議同士の連携が深まると思う。

会 長：今回開催の会場では、貸し出し時間の制約もあって、時間的なゆとりがほとんどない。そういう面も含めて、今のご意見を参考に検討していただきたい。ほかになれば、運営部会の報告をお願いしたい。

運営部会の報告・・・コミュニティ会議のあり方及び支援策について

大関部会長より、以下のとおり報告があった。

(コミュニティ会議のあり方及び支援策について)

- ・運営部会ではコミュニティ会議のあり方及び支援策について検討してきた。つめ切れなかったところや、議論の途中のところもあるが、現段階で一通りの方向性がまとまった点について、活動報告書に掲載することとした。
- ・現状から見た問題点としては、登録団体数の増加を促す必要があること、助成なしでは維持できない可能性のある事業があること、審査のための全体会の負担が大きくなっていること の3点ととらえている。その認識に基づいて、提案をまとめた。
- ・提案内容は次のとおりである。登録団体の増加促進に向けて、第1点として、「PRの充実」が重要だと考えている。なかでも、コミュニティの広場などの機会を積極的に活用して、登録団体の話を直接聞く機会を充実することが重要だと考える。出前講座のような形でそのような機会を確保することも考えられる。また、浦和区まちづくり推進プランに基づいて、重点的な登録促進のPRを行うなどの提案もある。
- ・第2点としては、対象団体に関する規定の柔軟化を挙げている。要綱上の「15年度以降の団体」という規定は、将来的には外していきたいが、一旦なくすと、状況が変化しても元に戻すのは難しいことから、この規定を原則として柔軟に対応していくこと、また、スキルアップ事業を活用してもらうようにするのがよいと考えている。また、NPO法人についても、基本的には登録の対象として考えていきたい。ただし、NPO法人は収支見通しを持っていること、活動範囲が区を越える場合があることなどから、審査は慎重に行う必要があるとも考えている。NPO法人に別の組織を立ち上げていただき、認定するという方法もあると思う。
- ・第3点としては、助成以外の方策の充実である。コミュニティの広場など直接交流できる機会を充実し、ネットワークづくりを支援していくほか、活動場所の確保、資機材の貸し出しなどのメリットも、積極的にPRしていくとよいと考える。
- ・問題点の2番目であるが、助成がないと持続できない事業の自立促進については、まず、地域活性型事業として位置づけられた事業については、明文化されていないものの、原則3年を一つの考え方としてきた。今年度、3年目を迎える事業があるが、なかなか自立が難しいものがあり、この原則をなくすかどうかについて、部会で議論してきたが、結論としては、3年を原則としたうえで、それ以後の資金面の見通しのたたないものについては、助成期間の延長も可能とすることとした。その場合、無制限ではなく、延長の期限や助成率を下げるなど必要であると考えているが、具体的な数字として示すとなると判断が難しいため、この点については、事務局のお考えをお聞きしたいと思う。
- ・最後に、申請団体に対する審査についてであるが、これまで、事業計画の審査は、部会と全体会の2段階で行ってきたが、今後、基本的に部会で詳細に審査し、全体会では一括して報告・承認する方法にしてはどうかと考える。その場合、団体と直接、意見交換する場合は運営部会のみとなるので、関心のある方は、部会にオブザーバー参加していただければと思う。

(意見交換)

会 長：以上の報告について、なにかご意見は。コミュニティ会議の支援については、当初、3年程度バックアップしたら、ひとり立ちできる、そういう方針で臨んでもらいたいという意図であった。そのころは、3年もすると、たくさんのコミュニティ会議が立ち上がり、予算内ですべての助成を行うのは不可能になるかもしれないと予想したわけだけが、実情はそうではなかった。自立は必要だが、かといってせっかくコミュニティ会議として育てたものが、助成の終了と共に途切れてしまうのも問題だという認識がある。皆さんのご意見を。

委 員：助成金の件だが、やはり、コミュニティ会議としての意図を見せてもらわないといけないのではないか。福祉的な活動は別にして、何かをただであげたり、食べさせてあげたりするのは、いつまでたっても自立できない。そうした内容の見直しは促していくべきだ。審査体制については、忌憚のない意見を言うというのは実はむしろ難しい、というか、さしさわりがあつたりする。部会で直接、話を聞くというのでよいと思うが、運営上の工夫は必要だろう。

会 長：本当に難しい。事業計画を説明しにきたコミュニティ会議の方々が、区民会議に出席して嫌な感じを持ったということもあった。審査は必要だが、かえって芽をつぶしてしまったら何にもならないので、なかなか難しい。事務局の考えは。

事務局：いわゆる「地域活動型」については、原則3年とし、以降も助成が必要な場合、延長される助成期間や補助率に一定限度を設けるという方向でよいのではないか。次回、具体的な限度について考えを提示したいと思う。基本的な考え方は運営部会と同一のものである。

会 長：では、その点については事務局の案を待つとして、これまでの部分については、運営部会の考えを区民会議の意見として報告書に掲載することによるしいか。

(異議なしの声)

では、そのようにまとめたい。ここでいったん休憩し15時10分に再開する。

企画部会の報告・さいたま市に対する提案・要望について

大工原部会長より、以下のとおり報告があった。

(17年度の部会での検討テーマ)

- ・企画部会では「浦和区魅力あるまちづくり推進プラン」の実現化方策を考えるとともに、市の計画立案等で区民の視点からチェックを行うことを役割としており、その活動のまとめを報告書に掲げた。
- ・その1つとして、まず、浦和駅東口市民広場への提案を行った。東口の再開発事業は、区のまちづくり推進プランにおける「にぎわいのあるまちづくり」と関係の深い市の事業であり、広場の工事のスケジュールとの兼ね合いから、提案を急ぐ必要があったので17年度はこのとりまとめに注力してきた。まとめた提案は、市の担当者及び再開発事業に関係する事業者が一堂に会する会議の席上で発表することができ、結果的にかなり配慮してもらったと感じ、感謝している。
- ・その他の活動テーマである防犯、緑化、地域通貨については、各担当課から現状についての話をうかがうことにとどまっている。
- ・17年度のテーマの一つ、防災については市全体での問題であり、区民会議の取り組みと

しては、区民の身近な生活とも関連する防犯の観点もあわせ、安心・安全のまちづくりとして検討することにした。緑化については、都市景観形成基本計画の地区計画策定の機会をとらえて、勉強しながら提案していく。地域通貨は、これら2つを具体的に進める際に、行動を促す可能性のある手段の一つとして、考えていくことにした。これらは引き続き、18年度も検討していく。

(市政への提案)

- ・企画部会では、市政への提案について、皆さんの提案をもとにまず14の案にまとめた。市が実現に向けて検討中のものや、対応済みのもの、市に要望するのではなく、区民会議の検討テーマとしたほうが良いもの、複数の案をまとめるとよいものなどがあり、これらを整理し、資料のとおり6つの提案に整理した。
- ・今年度の提案部分を見ると、公民館の予約制についての提案は前年度にもあり重複感がある。昨年度の市の回答によれば、17年度末には答を出す予定となっており、その内容を見て、十分でなければ改めて提案するのでもよいと思う。皆さんのご意見を聞きたい。

(意見交換)

会 長：予約制度も含めて、現在、コミュニティ関連施設の検討委員会で検討中である。公民館の現状の予約制度について、必ずしも否というものではないが、区によって利用のされ方が異なり、浦和区のように公民館利用の地域性が高い区と、公民館はさほど地域性が高くなく地区会館などが地域にもっとも身近な活動施設として利用されている区がある。そういうレベルの違いを考慮せずに公民館予約のIT化を押し進めた結果、問題が生じていると理解している。いずれにせよ、4月の第1回でなんらかの結論が出される予定である。そのため、今の時期に改めて予約制度についての意見を出すのはどうかと、個人的には思う。

委 員：今年度の結論を見て、検討経過を踏まえて提案を出すのがよいのではないか。

会 長：では、そのようにするのでよろしいか(異議なしの声)。ほかに、ご意見は。なければその他に移りたい。

その他

委 員：都市景観形成基本計画の説明を聞いて、区民会議に対する期待が大きいと感じた。千代田区では、千鳥ヶ淵ほとりに改築されたイタリア文化会館の赤い外壁が、緑の多い周辺の景観に調和しないとの声があがり、色の変更を求める住民運動に発展している。色の話などはまだ先のことかと思っていたら、すでに結構、問題になっているということを感じた。今後、さいたま市の計画づくりに対しては、よく勉強して臨みたいが、その材料として「さいたま市美しいまちづくり景観条例」を皆さんに配布してもらえないか。

会 長：では、事務局で用意して次回、皆さんに配布していただきたい。そのほかに何か。

委 員：コミュニティ会議に認定されてから補助金がもらえるまでに、どのぐらいの時間がかかるのか。

事務局：補助金申請は6、9、12月の3期に分けて受け付けている。6月の申請であれば、7月の運営部会で事業計画の説明をしていただき、区民会議に送ってご意見をうかがい、

7月末から8月上旬で交付決定、その後、2～3週間で口座振込みとなる。

会 長：今の説明でよろしいか。では、ほかに。

委 員：昨年9月の区民会議において、18年度予算編成に向けてご意見をとの依頼が事務局からあった。3人の委員が意見を提出したはずであるが、その意見がどう取り上げられたのかなど、経過の説明、報告が全くない。どうなっているのか。

事務局：3人の委員のご意見は、区コミュニティ課が予算要望する際の積算根拠として、参考にさせていただいた。その結果、区の予算は前年どおりとなっている。また、ご意見のうち、校庭の芝生化や電柱の地中化など、区ではなく市の事業になるものについては、それぞれの所管課に皆さんのご意見を送っている。所管課でそのご意見をどのように予算に反映したかについては、予算の詳細がまだ届いていないため、事務局もまだ承知していない。

委 員：区民会議の活動に真剣に取り組んでいるが、事務局のこのような、なしのつづでの態度では、やる気が失せてしまう。

委 員：第2期の任期があと1年を残すところとなり、納得できる形で次期の委員に引き継げるようにしていくのが責務であると考え、この1年、自分なりに区民会議を客観的に見てきた。そして思うに、区民会議の位置づけが明確でなく、行政の下請けのように感じられる。プロである行政からすると、アマチュアである区民会議は全く重視されていないようだ。前回の区民会議においても、私はまちづくり基本経費3百数十万円の使途を尋ねたが、議事録には詳細な数字が抜けており、その点を指摘したが何の応答もない。今のご意見でも、事務局の誠意のない対応が、委員のやる気をそいでいることがわかる。あと1年、区民会議活動の様子を見て、必要であれば、なんらかのアクションをしなくてはと考えている。

事務局：説明が不足していたこととお詫びし、今後は、適切に説明、報告をするようにする。

会 長：ほかに、ご意見は。では、次回日程を。

【次回区民会議（全体会）】

第9回浦和区区民会議は、平成18年4月22日（土）の午後2時から、市民会館うらわ603会議室にて開催予定とする。

【17年度終了を迎えるにあたっての会長・区長挨拶】

- ・（坂本会長挨拶）1年間のご協力ありがとうございました。とくに、今年度、新規に委員に加わった皆さんは終始熱心で、大変、ありがたく感じている。10区の区民会議の先頭にあるという自負を持って活動しているが、残す任期1年も積極的に参加、ご発言いただき、一層盛り立てていただければと願っている。
- ・（宮澤区長挨拶）毎回、熱心に、多方面にわたって議論していただき、区民会議が着実に運営されていることに深く感謝している。18年度から区政方針を策定することとなり、浦和区においては、浦和区まちづくり推進プランを踏まえつつ、主要事業を区政方針に盛り込んでいく予定である。そのなかで、区民会議・コミュニティ会議の育成・支援についても進めていきたいと考えており、浦和区のまちづくりに、今後とも変わらぬお力添えをいただければと思う。どうもありがとうございました。

以 上